

TEEP

進化型実務家教員
養成プログラム

NEWS LETTER

VOL.47

TOPICS

地域や企業と大学を橋渡しすることが 実務家教員の使命



淑徳大学 経営学部
観光経営学科 吉田 雅也 先生

実務家教員が真価を発揮すべき部分は、ビジネスの現場で起きるリアルな課題とアカデミックな理論とを結び付け、学生に考える機会を与えることです。そのためには、教員自らがキャリアの中で築いてきた人脈やスキルを活用して、常に最新の知識や情報を把握しながら、企業や地域などとの産学連携を進めることが重要です。

私は2019年から毎年、長野県山ノ内町で行われるホテル・旅館のインターンシッププログラムに協力しています。今夏も志賀高原のリゾートホテルのご協力を得て、約3週間にわたり、学生が中心となって、客室清掃やフロント、レストランなどの接客業務を行うプログラムを実施しました。学生には、リゾートホテルでの実務を体験するだけでなく、いかにして夏の志賀高原に集客し、地域を活性化させるか、考案することを求めました。ゲストとの会話やアンケート調査結果に基づいて、学生たちはさまざまな提案をしてくれました。

こうした取り組みは、社会人基礎力やコミュニケーション能力の向上につながるだけでなく、リゾート地ならではのシーズナリティによる繁閑の差や、人員確保の難しさといった現場の課題を考える契機ともなります。さらに、実際に働くことを通じて、将来のキャリアとして宿泊産業や観光業を検討する材料にもなります。

大学の教室だけでなく、学外でのリアルな体験を通じて、実社会と学生とを結びつける事こそが、実務家教員の使命だと考えています。

教員メッセージ

毎日の積み重ねが 未来のあなたをつくる



二刀流や、複数のことに同時にチャレンジする生き方は、野球界だけでなく日本社会でも徐々に広がりつつありますが、仕事など何かをしながら学び続けることは、大変な挑戦です。うまくいかないことも多々あるでしょう。しかし、忙しい日々の中でも、自己成長のために学び続ける姿勢は、本当に素晴らしいことです。疲れを感じることもあるかもしれませんが、その先に待っている成果を思い描いてください。毎日の積み重ねが、あなたの未来を大きく開く力になります。どうか自分を信じて、焦らず一歩ずつ進んでください。応援しています！

(人間文化研究科 准教授 松村智史)

TEEP \NOW/

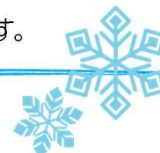
みなさん、こんにちは！

2024年度の後期がスタートして2か月がたちました。

専門コースへ進まれた5名は、それぞれのコースで、大学院生と肩を並べ、お互いに刺激し合いながら学んでいます。

今年度は、初めてTEEP修了生が実務領域診断カルテの判定者養成研修セミナーに参加していただきます。

カルテの意義をよく理解されている修了生の皆様ですので、判定基準を理解していく過程で、さらに実務家教員コンピテンシーを高められると思います。



「記憶に残る実務家教員」を目指し 「ニーズ・リソース・ゴール」を考え抜く

「多文化共生と国際貢献」の講義を、国際センター職員・外国人講師等と担当しました。私の役割は、初講と最終講での学びの意識付け、外国人が抱える問題に関する9回の講義の補佐、学部混成で対応策を考える4回のグループワークのファシリテーターとしました。

「キャリアと講義の関係を伝え、学びへの期待感を高めて欲しい」というニーズを伊藤副学長からお聞きし、初講では、危機管理を学んだ留学経験、海外のインフラ修理技術を探索・技術評価・独占販売事業化した経験をリソースとして、疑似体験にて海外への関心を喚起しました。中盤では、「グループワークでの論点整理を学びたい」というニーズを聞き、問題構造化、具体と抽象、発散と収束、MECE等のコンサル知識を伝授しました。最終講では、「まじめで優秀だが可能性を低く見積もりがちな思考の

変革」を潜在ニーズと考え、会社員の傍ら士業仲間の研究会で学び大学院で中小企業BCP（事業継続計画）の研究をする姿を「計画された偶発性理論」「弱いつながりの強さ理論」と共に紹介し、学生にも自分の可能性を「外へ外へ」「多文化共生的に」広げる構想を描いてもらいました。

TEEPで「ニーズ・リソース・ゴール」を考え創意工夫した体験が活きましたが、リソースの補充は欠かせません。国際センター職員や外国人講師等のリソースも素晴らしく、論文を執筆中の方も複数名おられました。連携する実務家教員側も、大いに刺激と学びを得ました。

名古屋市立大学非常勤講師/研究員
中小企業診断士
インフラ系企業社員 今川隆



★市民向け講座★

名古屋市立大学寄附講座(近世名古屋学)

「桶狭間の戦いと大高城」

【日程】2024年12月21日(土)
午後1時から午後3時30分

【会場】名古屋市教育センター講堂
(名古屋市熱田区神宮三丁目6番14号)

【主催】名古屋市立大学

【共催】名古屋市、名古屋市教育委員会

【講演内容】

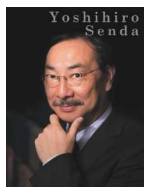
- 第1部 ゲスト講演「史跡大高城跡の調査成果について」
講師 片桐妃奈子
(名古屋市教育委員会文化財保護課学芸員)
- 第2部 講演「桶狭間の戦いと大高城」
講師 千田嘉博(名古屋市立大学教授)
- 第3部 対談企画
「大高地区の歴史的価値を生かしたまちづくりの推進」
坪田知広(名古屋市教育長)× 千田嘉博

【受講料】無料

【参考URL】

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/event-list/20241101-2/>

※誠に申し訳ありませんが、申し込みは2024年11月27日に終了しております



お知らせ

TEEPコンソーシアムでは、2025年1月に次年度受講生募集に向けた基本コース・専門コースの説明会を行います。
TEEPでどのようなことが学べるのか、どのような能力が習得できるのか、何を狙っている講座か等、ご興味がおありでしたら是非ご参加ください。
詳細は以下のWebサイトでご確認ください。
<https://teep-consortium.jp/events/seminar/>

公募情報

ピックアップ

- 県立広島大学(広島県)
大学院経営管理研究科 ビジネス・リーダーシップ専攻(ICTと中小・中堅規模組織の経営分野) 教授、准教授又は講師
- 名古屋市立大学(愛知県)
リサーチ・アドミニストレーター(URA)
特任講師、特任助教のいずれか